

Q&A

あなたの疑問にお答えします!

Q 便器まわりにできる黒いシミの原因は?

A 小便中のアンモニアや梅雨時の結露の水が原因です。

立位で小便をする際に、便器内の当たる場所によっては小便がはね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床でそのまま放置されると小便中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。

Point!

床にこぼれた水分は、すぐにふき取るようにしましょう。



Q トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの?

A 水たまりにあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと予防できます。

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」は便器に水たまりがあることが原因です。

- 汚物の形や量などによっては水がはね返ってくるがありますが、この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役目があるため、なくすことはできません。



Q 便器内に汚物は付着しないの?

A 汚物の種類や粘性によっては付着する場合があります。

便器ボウル内の乾燥面だけでなく便器内の水がたまっているところにも汚物が付着する場合があります。

- 便器の洗浄水だけでは洗い流せないことがあります。 **お手入れ P.24**

Q 便器内の黒色やピンク色の汚れの原因は?

A カビの孢子やバクテリアが繁殖したものです。

便器の水たまり部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れが付くことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの孢子やバクテリアが便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したものです。

Point!

汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどにつけてこすり落としてください。 **お手入れ P.24**

Q 便器洗浄後、なぜすぐに水は止まらないの？

A サイホン作用を利用するタイプの便器は、洗浄後約1分間水を補給する仕組みになっています。

サイホン作用を利用する便器では、洗浄時にサイホンが起こり、便器に溜まった水がほとんどなくなってしまう。このままの状態では臭気があがってきたり、次の洗浄のときに支障が出るため、元の位置まで水を戻しておく必要があります。



Q なぜ便器の表面に水滴が付くの？

A ガラスのコップに氷水を入れると、たちまちコップが汗をかくように、便器も汗をかくことがあります。

この汗を結露と言います。湿度が高く水温と室温の差が大きいほど発生しやすく、地下水を利用している場合や湿度の高い梅雨時、あるいは冬の暖房時などによく見られます。

※防露便器でも、室温と水温の差が15℃以上で室内の湿度が80%に達すると結露することがあります。

Q 汚物排出後に「ゴボッゴボッ」と音がする原因は？

A 便器内の水が排出される際に、同時に引っ張られた空気と便器内の水が交じり合って発生する音です。

便器の異常ではありません。

参考) ストローでジュースを飲む場合、コップの底にたまったジュースを吸うときに「ジュジュ」と音がしますが、それもジュースと空気を同時に吸い込むために発生する音で、基本的には同じ現象です。

Q バリウム残りはなくせないの？

A あらかじめトイレットペーパーを敷いていただくと、若干排出が良くなります。

バリウムなどのように水に不溶で比重が大きい物の排出につきましては、一度の洗浄では流れきれない場合があります。完全に流せない場合は、便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで溜水と混合したあとに数回洗浄してください。

Q 細かい汚物の残りはなくせないの？

A まれにですが、一度の洗浄では流しきれない場合があります。

汚物の種類(下痢便など柔らかい軽い汚物など)によっては流しきれない場合があります。その場合は、もう一度流してください。

Q 便ふたがキャビネットに当たることがありますが、故障や割れの原因となりませんか？

A クッション材をつけていますので、故障や割れの原因にはなりません。

Q 立って小便をする場合はね返りはなくせないの？

A 座って小便をすることで軽減することができます。

立って小便をする場合、小便がはね返り、便器外へ飛び出すことがあります。便器内にたまった水などに小便が当たり発生するものです。

Q 便器洗浄後に床下から「ピシャピシャ」と音がするのはなぜ？

A 便器の封水を確認するため、若干水があふれる(オーバーフローする)音です。

その際に排水管で音(ピタ、ピチャなどの音)が発生する場合があります。

アフターサービス

修理を依頼される前に、故障かな?と思ったら P.42 を確認してください！

保証について

保証書 P.51

保証書を確認してください！

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日・取付店名・扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよく確認してください。例えば、「取扱説明書・施工説明書、張付ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

保証期間を過ぎた場合は？

- 修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させていただきます。
(例：パッキン・ダイヤフラムなどの摩耗劣化部品の交換を含む)

修理依頼について：修理料金の仕組み 本ページ右部

延長保証制度について

- レストパルF・レストパルの一式もしくはウォシュレット単体のみの2タイプから選んで申し込みができます。詳しくは同梱のチラシをご覧ください。

修理依頼について

修理のご用命は 裏表紙

修理を依頼されるときは

- 各商品に付属されている「取扱説明書」をもう一度ご確認ください。ご相談の際は、次の事をご連絡ください。

- ①ご住所・ご氏名・お電話番号
- ②商品名
- ③商品品番(商品品番ラベル張付位置:P.46 参照)
- ④購入日
- ⑤故障内容、異常内容(できるだけ詳しく)
- ⑥訪問ご希望日

ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先

- 「TOTO (株)お客様相談室」または「TOTO メンテナンス(株)」

電話番号は 裏表紙

修理料金の仕組み

※TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合
標準修理料金は

技術料 + 部品代 + 訪問料 で構成されています

補修用性能部品の供給期間

- 補修用性能部品※の供給期間は製造中止後10年です。
※パッキンなどの機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの
- 水栓金具・ウォシュレット・電気温水器などの機器類については専用の取扱説明書を確認してください。
- 扉などの面材については、製造中止後、2年の供給期間としております。供給期間経過後は、代替品にて供給させていただきますので、ご了承ください。
- 商品のモデルチェンジなどにより、予告なく商品を製造中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。